

第26回スノーアカデミーを開催!

よく遊び!よく学び!

楽しさと交流を深めながら

再加入と新加入をかちとろう!

2月18日、19日に岩手県安比高原スキー場において「第26回スノーアカデミー」を盛岡地本準備のもと開催し、70名を超える組合員・OB・家族が参加しました。

1日目は晴天の中、ゲレンデを満喫するとともに、技術向上を目指し基礎講習やポールレッスンを行いました。また、本部・山口委員長の講演では、19春闘のたたかひや、要員不足による問題、組織強化・拡大について講演をいただきました。

長年にわたりスキー・ボード部の役員を担い奮闘され、現役として今回の最後の参加となった東京地本の木村秀幸さんを含め、2日目の大回転競技では参加者による白熱した激しい戦いが繰り広げられました。

スノーアカデミーは全12地本参加のもと、良く遊び、良く学びをスローガンに掲げ、OBや家族が参加しやすい雰囲気は今後もつくり出し、脱退した方の再加入と結集を呼び掛けていきます。



大回転競技結果

レディース・ファミリーの部 優勝 戸館 美穂 (盛岡) 準優勝 井上 羽瑞希 (水戸) 第3位 三上 羊子 (盛岡)	スノーボードの部 優勝 小林 孝 (東京) 準優勝 松井 淳 (大宮) 第3位 大川 順也 (東京)	ミドルの部 優勝 稲澤 勝成 (東京) 準優勝 千賀 亮 (東京) 第3位 井上 直也 (水戸)
OB・エルダーの部 優勝 吉田 賢彦 (東京) 準優勝 市川 保二 (東京) 第3位 古谷 省吾 (横浜)	シニアの部 優勝 穂高 栄司 (東京) 準優勝 木村 秀幸 (東京) 第3位 野崎 三男 (東京)	

工務職場の安全をつくり出す! 「命を守ろう」を合言葉に誓い合う!

工務部会は、2月21日に「山手貨物事故から20年「命を守ろう」工務安全集会」を目黒さつきビル会議室で開催しました。日勤職場ではありませんが、山手貨物事故発生日の開催にこだわり、63名の仲間が参加し、事故の教訓と将来の工務職場をどのようにつくり出していくのかをパネルディスカッションを通じて議論しました。

私たちは山手貨物線触車死亡事故を契機に「命を守ろう」を合言葉に「線閉なくして作業なし」「見張員の注意に依存する作業を行わない」として「列車運行と保守作業を分離」「原則線閉」を労使の議論でつくり出してきました。そして「保線部門におけるメンテナンス体制の最適



化」「電気部門における変革2022」「新幹線業務の変革」など職場の形態だけでなく業務内容も『変革』に対する「安全・健康・ゆとり・働きがい」を担保していかなければいけません。労働組合らしく職場の声を基に要求づくり、検証の取り組みに力を入れていくことを全体で確認しました。

施策の要求づくりの中で、業務課題を組織強化に結びつけることができた盛岡地本のたたかひを教訓化して、12地本総団結で組織強化・拡大に向けて取り組んでいきます。



第338回政経フォーラム(2月21日)

土壌生態系から考える自然との共存

法政大学教授 島野 智之氏



2月21日、JR東労組中央本部大会議室にて、第338回政経フォーラムを開催しました。法政大学教授島野智之氏から「土壌生態系から考える自然との共存」というテーマで講演をいただきました。

ダニは昆虫の次に種類が多く、名前が付けられているだけでも2000種類存在しています。日本に生息するダニのうち約1%のダニのみが人の血を吸って生きていて、多くは落ち葉を食べ有機物を無機物に科学的分解することにより、自然界の生態系を維持しています。

また森林と地球温暖化について、一度壊した土壌は二度と同じ土壌には戻らないことや、地球温暖化が進んでしまったことの原因は、私たち人間がこれまでの地球上の姿を変えてきてしまったことだと話されました。だからこそ、人間として責任ある行動を取るべきことが正しい生き方ではないかなど、私たちが行っている森びとプロジェクトの活動と関連したお話も聞くことが出来ました。

詳細は「セミナー」にて掲載します。

◇お知らせ◇

これまで「緑の風」を月2回発行してきましたが、4月より月1回発行へ変更となります。ホームページでも、情報発信していきますので今後ともよろしく願いいたします。

